

年頭のご挨拶

奈良県病院協会看護専門学校

学校長 今川 敦史

(社会福祉法人 恩賜財団済生会)
中和病院 院長

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、3月に「東日本大震災」が、9月には我が奈良県の五條・十津川方面も襲った「紀伊半島水害」と未曾有の自然災害が発生し、多くの方々が被災され命を奪われました。ここに改めて哀悼の意を表しますとともに、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、今年が本校が平成10年に開校して15年目を迎えることとなりました。この間一貫して奈良県内の地域医療を担う有能な看護師の養成を目指し、加盟病院の皆様方は言うに及ばず、多くの県民の皆様から信頼され、注目される学校づくりに教職員一丸となって取り組んできたところです。

現在、わが国の看護師を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展、医療技術の進歩など大きく変化しており、医療現場の安全と安心を支え、患者のニーズに合った看護を提供するという看護師の役割は、ますます重要なものとなっています。

一方、医療現場における医師・看護師の人材不足は多くの問題をかかえ、奈良県もその例に漏れません。

そうしたなか、これからも「人間の生命、尊厳を尊重し、愛とヒューマニティを基盤とした看護の実践ができる看護師を育成する。」ことを教育理念とした、地域医療を担う看護師の養成に努めて参りますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。